城山小学校 第８９５回 平和祈念式 令和８年３月９日

校長先生によるお話

３月９日は、今年度最後の平和祈念式です。この式は、今日で「８９５回」を数える、世界でも例のないほど長く、大切に続けられてきた式です。

さて、３月は１年間のまとめの月です。この１年間、皆さんは平和について、本当によく頑張りましたね。１年生の皆さんは、学校にある「嘉代子（かよこ）桜」のことを一生懸命勉強しました。２年生の皆さんも「少年平和像」について詳しく調べ、立派な発表をしてくれました。

他の学年の皆さんも、自分たちで平和を「自分ごと」として捉え、どうすればみんなが楽しく幸せになれるかを「気づき、考え、行動」に移してきました。皆さんが、お友達と仲良く助け合ったり、優しい言葉をかけ合ったりする姿を見て、校長先生は「城山小学校に、あたたかい平和の風が吹いているな。」と、とても嬉しく思いました。

先月イタリアで行われた「ミラノ・コルティナ冬季オリンピック」を見ましたか？世界中から集まった選手たちが、雪や氷の上で素晴らしい活躍を見せてくれました。校長先生が心に残っているのは、スキージャンプで銅メダルを取った二階堂蓮（にかいどうれん）選手の姿です。

二階堂選手は、メダルを取った後、真っ先に家族のところへ行って、力いっぱい抱きしめ合いました。そして、「家族の前でメダルが取れて本当に嬉しい。僕はまだまだ強くなれる」と、キラキラした笑顔で話していました。また、ある選手は、試合が終わった後に空を見上げて「このミラノの空が、今までで一番綺麗に見えた。まるで桜の花が満開に咲いているようだった。」と言いました。

オリンピックの精神とは、「スポーツを通して、世界中の人たちが仲良くなること」です。国や言葉が違っても、お互いを「すごいね」と認め合い、最後はみんなで握手をして、お互いの頑張りを称え合っていました。その姿こそが、平和の姿そのものであり、来年度の城フェスでも、新６年リーダーを先頭に城山小の子供としてその姿を存分に見せることを期待しています。

また、二階堂選手が「まだまだ強くなれる」と言ったように、皆さんにも、無限の可能性があります。これからもっともっと「優しくなれる」、もっともっと「多くのお友達と繋がることができる」力を持っています。世界中には、皆さんと同じように、大きな夢を持ち、希望に満ちた未来を信じている子供たちがたくさんいます。皆さんが今日、ここで誰かに優しくすることは、海を越えて、世界中の子供たちの笑顔と繋がっていくのです。

最後になりますが、皆さん、これからの未来は、皆さんの「夢」と「希望」で溢れています。「平和は城山から」…、この言葉を、これからも大切に心に持っていてください。自分が使う言葉のひとつひとつ、自分が行う行動のひとつひとつが、お友達を笑顔にするものかどうか。常に考えることができる人となってください。皆さんが、これからも大きく、優しく成長し、希望に満ちた素晴らしい平和な未来を作っていくことを心から願っています。





